

総務委員会資料

1 所管事務の調査（報告）

- (2) 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和5年度事務事業評価結果について（市民オンブズマン事務局に関する部分）

資料1 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和5年度事務事業評価結果について（市民オンブズマン事務局）

資料2 令和5年度の事務事業の評価結果一覧（市民オンブズマン事務局）

参考資料 令和5年度事務事業評価シート（市民オンブズマン事務局）

市民オンブズマン事務局

令和6年8月23日

「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和5年度事務事業評価結果について (市民オンブズマン事務局)

1 趣旨

「川崎市総合計画」第3期実施計画における、市民オンブズマン事務局の令和5年度の事務事業評価結果を取りまとめました。

2 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和5年度事務事業評価結果（概要）

「川崎市総合計画」第3期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業のうち、市民オンブズマン事務局が所管する事務事業は1事業あり、目標をほぼ達成しました。（表1）。

表1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比（市民オンブズマン事務局）

達成状況区分		内容	事業数	構成比(%)
1	目標を大きく上回って達成	・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。	0	0.0%
2	目標を上回って達成	・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ・目標に明記した数値を上回った。	0	0.0%
3	目標をほぼ達成	・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	1	100.0%
4	目標を下回った	・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を下回った。 ・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	0	0.0%
5	目標を大きく下回った	・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0.0%
合計			1	100.0%

令和5年度の事務事業の評価結果一覧(市民オンブズマン事務局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	50201050	人権オンブズパーソン 運営事業	公聴及び相談・ 苦情申し立ての 聴取等	子どもの権利の侵害や男女平等に関 わる人権侵害について、問題解決に 向けた助言・支援や、関係機関等へ の調査・調整を実施します。	●相談者に寄り添い、相談者と問題解決を図るとともに、解決に向け相談者を支援(子どもの相談受付件数74件、男女平等の相談受付件数15件) ●第三者として公平に調査し、調整結果をもとに関係者間の調整、事案の適切な解決(救済の申立て受付件数8件、発意調査件数5件) ●広報・啓発活動及び報告書の公表 ●相談・救済に向け、市の機関及び関係機関等との連携・協力	33,052	32,345	3	P6

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の 中枢拠点としての耐震性を確保す るため、建替えの取組を進めます。	●令和5年10月に新しい本庁舎の供用を開 始(令和4年度に完成予定だったところ、新型 コロナウイルス感染拡大の影響により遅れた もの) ●第2庁舎解体・跡地広場整備工事の推進	2,882,496	22,190,598	4	P●●	①「政策体系別計画に記載 のある事務事業」及び「施策 を推進する経常的な事務事 業の中でも特に重要なもの や進捗に遅れのあるもの」を掲 載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上や 地域経済の活性化を図るため、かわ さきWi-Fiの運用を行うとともに、地域 情報の効果的な発信を図ります。公 共データを市民サービスやビジネス につなげるため、オープンデータの 公開を進め、その効果的な活用を 推進します。	●かわさきWi-Fiの新たなサービス、各区のいこいの 家、ヨネッティ王禅寺等への導入、及び出張 所へのアクセスポイントの増設 ●川崎市LINE公式アカウントとかわさきアプリ を活用した情報発信(川崎市LINE公式アカウン ト友だち登録者数: 目標50,000人、実績 49,896人) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業 者等登録数: 目標400団体、実績392団体) ●更なるオープンデータの公開(公開データ セット数: 目標400件、実績404件)(公開データ の月平均ダウンロード数: 目標6,500件、実 績6,917件)	25,113	28,725	3	P●●	②市民サービス等の分類を 記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立 ての聴取等 ○許可可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「川崎市デジタル・トランスフォー メーション(DX)推進プラン」に基づ き情報関連施策の進捗管理を進め るとともに、マイナンバー制度の効 率的・効果的な運用を図ります。	●他の自治体等とのマイナンバーによる情報 連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口 の設置及び健康保険証利用の登録作業の実 施(マイナポイント申込等の支援件数: 実績 44,645件) ●「川崎市デジタル・トランスフォーメーション DX」推進プランに基づく取組の進捗管理の 実施及びプログラムの改定 ●ワークスタイル変革に向けたテレワークの 更なる推進や本庁舎建替えに伴う無線LAN 環境の整備、市庁舎のスマートフォンの 実施及びRPA等の活用による業務プロセス 改革を推進(AIやRPAを導入した業務の件数 (累計): 実績50件) ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施 (実施回数: 28回)	289,816	225,987	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	デジタル化推進事業	その他	スマートフォンなどから24時間申請 が可能な電子申請システムの構築・ 運用や、市民ニーズが高い施設・窓 口等でのキャッシュレス決済の導入 を推進するなど、デジタル技術を活 かして利便性の高い行政サービスを 提供します。	●電子申請システム「オンライン手続かわ さき(e-KAWASAKI)」の安定的な運用(電子申 請システムの利用件数: 目標500,000件、実 績519,451件) ●国の環境整備等による、オンライン化に課 題のある手続のオンライン化の実施(オンラ イン申請が可能な手続数: 実績2,734手続) ●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大に よる利便性の向上(施設・窓口数: 目標54、 実績62、決済比率: 目標20%、実績14.6%)	81,844	65,635	3	P●●	④令和5年度に実施した主な 取組の実績を定量的な数字 を含めて記載
5	40901005	市制100周年記念事業	参加・協 働の場	本市が、令和6(2024)年に市制施 行100周年を迎えることから、本市の さまざまな魅力、ポテンシャルを市 内外にアピールする機会と捉え、各種 事業や情報発信等を展開します。	●オール川崎市の推進体制である実行委員 会の運営(参画団体数: 383団体) ●市制100周年に向けたPRの実施 市内主要駅におけるシティレッシング、PR動 画や広報冊子の作成等 ●市制100周年記念イベントの実施 「Colors.FUTURE.Summit2023」、「みんなの川 崎祭」等	166,965	170,962	2	P●●	⑤令和5年度の予算額及び 決算額(見込)を記載
6	40901010	シティプロモーション 推進事業	その他	戦略的な情報発信等により、市民の シビックプライドの醸成及び対外的 な都市イメージの向上を図ります。	●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅 力発信 ●X、Instagramや動画等を活用した情報発 信 ●民間企業等との連携によるプロモーション の推進 ●「かわさきスペシャルサポーター」事業 SNSによる情報発信、広報誌出演、コラボ事 業の実施 ●ブランドメッセージの理念であり川崎の価 値である「多様性」をより多くの市民に共感 をもって受け止めてもらうための、川崎ゆかりの 著名人が詠んだ「5・7・5作品」を収録したデジ タル絵本の公開と、川崎への思いを広く市民 から募集する市民参加型企画「かわさきいろ いろ5・7・5」の実施及び入賞作品を収録した デジタル絵本の公開	45,543	44,704	4	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40901020	国際交流推進事業	イベント 等	海外からの視察受入れや(公財)国 際交流協会との連携により、行政だ けでなく市民による国際交流を推進 します。	●川崎市長をはじめとした訪問団が韓国・富 川市を訪問し、富川世界B-boy大会開幕式・ 大会視察その他市内施設視察を実施 ●ウーロンゴン市との交流について、川崎 ジュニア文化賞実行委員会と連携し、大賞受 賞者と、ウーロンゴン市副市長とのオンライン 交流会を実施 ●ラテンアメリカ及びカリブ海諸国グループ所 属の大使等が川崎港を訪問し、川崎市長との 意見交換及び川崎港・川崎マリエン視察を実 施	36,886	26,106	3	P●●	⑦参考資料における当該事 務事業の評価シートの掲載 ページを記載

**令和 5 年度
事務事業評価シート
（市民オンブズマン事務局）**

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要

事務事業	事務事業コード	事務事業名				政策体系別計画の記載							
	50201050	人権オンブズパーソン運営事業				有							
担 当	組織コード	所 属 名											
	750000	市民オンブズマン事務局 人権オンブズパーソン担当											
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)								
	平成14年度	—		公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等	—								
実施形態	☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ ボランティア等との協働 ☐ その他												
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市人権オンブズパーソン条例、川崎市子どもの権利に関する条例、男女平等かわさき条例												
総合計画と連携する計画等	地域福祉計画、自殺対策総合推進計画、子ども・若者の未来応援プラン、人権施策推進基本計画、子どもの権利に関する行動計画、男女平等推進行動計画												
SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性	10 	10.2	子どもの権利侵害や男女平等に関わる人権侵害について、問題解決に向けた助言・支援や、関係機関等への調査・調整を実施する。										
行財政改革第3期プログラムに関連する課題名	改革項目			課題名									
予決算 (単位：千円)	年度	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度					
		予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額	
	事業費 A	34,462	30,369	33,033	33,052	32,345	33,033	35,540		33,033			
	財源内訳	国庫支出金	260	—	260	260	—	260	268		260		
		市債	0	—	0	0	—	0	0		0		
		その他特財	0	—	0	0	—	0	0		0		
		一般財源	34,202	—	32,773	32,792	—	32,773	35,272		32,773		
	人件費※ B	14,742	14,742	14,919	14,919	14,919	0	0	0	0	0	0	
	総コスト(A+B)	49,204	45,111	47,952	47,971	47,264	33,033	35,540	0	33,033	0	0	
人工(単位：人)		1.75		1.75									

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計 画 (Plan)

政策体系	政 策	人権を尊重し共に生きる社会をつくる
	施 策	平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進
	直接目標	平等と多様性を尊重する意識を高める
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	子どもの権利の侵害と男女平等に関わる人権侵害について、相談及び救済の申立てを簡易に、かつ、安心して行うことで、市民の理解と相互の協調の下に迅速かつ柔軟に救済を図ります。	
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	子どもの権利の侵害と男女平等に関わる人権の侵害に関する相談を受け付けて、相談者に寄り添い、相談者自身の力で問題解決が図れるよう、適切な助言や支援を行います。救済の申立てにおいては、調査、あっせん・調整、是正等勧告、制度改善の意見表明、公表も行います。	
第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容	①子どもの権利の侵害や男女平等に関わる人権侵害に関する相談に対する助言及び支援 ②救済の申立てに関する調査・調整等の実施 ③相談・救済についての広報・啓発の実施及び人権オンブズパーソンの運営状況の公表 ④市の機関及び関係機関等との連携した取組の推進	
当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組)		

実施結果 (Do)

上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)		目標どおり達成できました。 ①については、相談者に寄り添い、相談者とともに問題解決を図るとともに、複雑なケースの場合等には継続して相談を受け、解決に向け相談者を支援しました。 ◇子どもの相談：1回の相談で終了した件数28件、継続相談件数46件 ◇男女平等の相談：1回の相談で終了した件数9件、継続相談件数6件 ◇継続相談に対する相談・面談等回数：192件 ②については、関係者からの資料提出や聞き取り、現地調査等により第三者として公平に調査し、調査結果をもとに関係者間の調整を行い、適切に事業の解決に当たりました。 ◇救済件数8件（救済活動251回） 前年度からの継続件数1件及び今年度受付件数8件に関する救済活動終了件数4件、次年度継続件数5件 ◇発意調査件数5件（発意調査活動210回） 今年度発意調査件数5件に関する調査終了件数1件、次年度継続件数4件 ③については、相談カード等の配布（市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、外国人学校等）や人権オンブズパーソン子ども教室（小学校8校、中学校4校、児童養護施設3施設）の開催及び人権尊重教育研究推進校である西御幸小学校の全校児童を対象とした「人権子ども教室」での人権オンブズパーソンの講演（4日間、延べ12回）等を通じて広報・啓発を行うとともに、6月に令和4年度報告書を公表しました。 ④については、市の機関や関係機関等と連携・協力し、相談・救済活動、広報・啓発活動、研修活動を行うとともに、関係会議への参画、関係機関・団体との意見交換を行いました。					
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標（指標の説明）	目標・実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1 活動指標	救済の申立て受付件数	目標	—	—	—	—	件
	説明 相談の内、相談者から救済の申立てがあった件数 (※なお、当該指標は目標設定にふさわしくないため、実績のみの把握とします。)	実績	3	8	—	—	
2 活動指標	子どもの相談受付件数	目標	—	—	—	—	件
	説明 相談窓口に寄せられた、子どもの権利侵害に関わる件数 (※なお、当該指標は目標設定にふさわしくないため、実績のみの把握とします。)	実績	78	74	—	—	
3 活動指標	男女平等の相談受付件数	目標	—	—	—	—	件
	説明 相談窓口に寄せられた、男女平等の人権侵害に関わる件数 (※なお、当該指標は目標設定にふさわしくないため、実績のみの把握とします。)	実績	20	15	—	—	

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)	いじめ等の子どもの権利の侵害やDV等の男女平等に関わる人権の侵害については、依然として深刻な状況が続いており、川崎市子どもの権利に関する条例、男女平等かわさき条例に相談・救済機関として位置づけられていることから、引き続き相談・救済活動を行っていきます。
事業の見直し・改善内容 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載 できる場合は記載	☒ 実施 (直近) R 5 年度 ☐ 未実施 専門調査員のスキルアップをより一層図るため 令和5年度:子どもの権利に関する見識を深めるため児童養護施設(3施設)との意見交換、施設見学を実施したほか、新規採用専門調査員を各種研修会等へ参加させることにより業務能力の向上を図りました。 令和4年度:子どもの権利に関する見識を深めるため児童養護施設等(3施設)を見学したほか、DV等の男女平等に関わる人権侵害の相談のより一層の充実に向けて、川崎市男女共同参画センターと意見交換等を実施しました。 令和3年度:子どもの権利に関する見識を深めるため児童養護施設(2施設)を見学したほか、DV等の男女平等に関わる人権侵害の相談のより一層の充実に向けて、川崎市男女共同参画センターと意見交換等を実施しました。 令和2年度:市の子ども施策や里親に関する取組についての見識を深めるため民間支援団体や総合教育センターの施設を視察するとともに意見交換を実施しました。 令和元年度:担当部署の職員による「性的マイノリティに関する本市の施策」及び「(仮称)川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例(素案)」についての研修や総合教育センター等の視察を実施しました。

評価項目	評価
必要性 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？ 評価の理由	a. 薄れていない b. 薄れている a. 事例はない b. 事例がある 子どもの権利の侵害や男女平等に関わる人権の侵害については、依然として深刻な状況が続いており、川崎市子どもの権利に関する条例、男女平等かわさき条例に位置づけられた相談・救済機関として、迅速かつ柔軟に解決できるよう相談・救済を引き続き行っていく必要があります。また、相談に対する関係機関との連携・調整等の支援や申立てに対する救済活動は民間では行えません。
有効性 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？ 評価の理由	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない 活動指標に掲げている件数の多寡では成果は図れませんが、救済を申立てられた案件や発意案件について適切に対応し、また、救済にまで至らない案件に関しても、迅速な解決に向けて適宜人権オンブズパーソンによる関係機関との連携・調査等の支援を行っていることから成果は上がっています。
効率性 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？ 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ 評価の理由	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み a. 可能性はない b. 可能性はある a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み 条例に基づく人権オンブズパーソンの活動については、民間事業者での実施は不可能ですが、より多くの市民に制度の周知や気軽に相談できる窓口があることを広報・啓発する取組を推進し、専門調査員に適切な研修や事例研究等を行うことにより常に質の向上を推進するとともに、令和6年7月の第3庁舎への移転に伴い、事務局内の執行体制を見直し、効率化を図っていきます。

貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由
施策への貢献度 A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A 指標で成果を図ることは困難ですが、子どもの権利の侵害や男女平等に関わる権利侵害の案件に対し、相談に対する助言や関係機関との連携・調整等の支援、申立てに対する救済活動、発意調査を通じて適切かつ丁寧に対応し解決を図っているため、施策に貢献できていると考えています。

改善 (Action)

方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業の方向性 I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	II いじめ等の子どもの権利の侵害やDV等の男女平等に関わる人権の侵害については、依然として深刻な状況が続いていることから、より一層の制度の理解と周知に向けて市民に分かりやすい広報・啓発に取り組むほか、専門調査員のスキルアップに努め、適切な相談・救済活動を推進していきます。
第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容	①子どもの権利の侵害や男女平等に関わる人権侵害に関する相談に対する助言及び支援 ②救済の申立てに関する調査・調整等の実施 ③相談・救済についての広報・啓発の実施及び人権オンブズパーソンの運営状況の公表 ④市の機関及び関係機関等との連携した取組の推進
今後の事業の方向性を 踏まえた次年度の取組内容 の変更箇所	変更箇所 (上記計画上の記載に 対する変更箇所) 変更の理由

事務事業評価シートの見方

「事務事業評価シート」は、事務事業評価のツールとして、572 の事務事業ごとに、事業の実施結果の達成度を把握するとともに、施策全体の推進に寄与しているか等を確認し、効率的・効果的なPDCAサイクルの実現につなげるため、事務事業所管課が作成し、取りまとめたものです。

事務事業評価シートの見方は次のとおりです。

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要											
事務事業	事務事業コード	事務事業名								政策体系別計画の記載	
	50101080	SDGs未来都市推進事業								有	
担当	組織コード	所属名									
	170900	総務企画局都市政策部SDGs・国際連携推進担当									
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類		分類1(市民サービス等)		分類2(内部事務)				
	—	—	その他		—		—				
実施形態	☐ 市が直接実施 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ ボランティア等との協働 ☐ その他										
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」実施要綱、川崎市SDGsプラットフォーム設置要綱、SDGs達成に向けたモデル事業創出支援補助金交付要綱										
総合計画と連携する計画等											
SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性											
17 17.17 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、多様なステークホルダーとの連携強化を図り、SDGsの達成に向けた取組を支援します。											
行財政改革第3期プログラムに関連する課題名											
改革項目 課題名											
予決算 (単位: 千円)	年度	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度			
		予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額
	事業費 A	14,917	13,076	8,053	11,155	8,433	8,053	10,006		8,053	
	財源内訳										
	国庫支出金	0	—	0	0	—	0	0		0	
	市債	0	—	0	0	—	0	0		0	
	その他特財	0	—	0	0	—	0	0		0	
一般財源	14,917	—	8,053	11,155	—	8,053	10,006		8,053		
人件費※ B	21,987	21,987	26,769	26,769	26,769	0	0	0	0	0	
総コスト(A+B)	36,904	35,063	34,822	37,924	35,202	8,053	10,006	0	8,053	0	
人工(単位:人)	2.61		3.14								

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)		
政策体系	政策	参加と協働により市民自治を推進する
	施策	市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり
	直接目標	多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	川崎市内で事業活動をしている企業や川崎市内で活動をしている組織等の多様なステークホルダー	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、SDGsの達成に向けた取組の支援を行うことで、市域におけるSDGsの推進を目指します。	
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	国の取組との連動、川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」や「川崎市SDGsプラットフォーム」を基盤とした多様な主体との連携強化、職員や市民、企業団体等への理解の浸透を図り、SDGsの推進に効果的に取り組みます。	
第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容	①川崎市SDGs登録・認証制度の申請様式の改善など手続の利便性向上に向けた検討と取組の推進 ②情報提供やセミナー開催などによるSDGsに取り組む事業者の支援 ③事業者のネットワーク化の支援に向けた取組事例の共有やマッチング支援などの実施 ④ポータルサイトや分科会の立ち上げなど事業者間連携の促進	
当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組)		

実施結果 (Do)		
上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)	ほぼ目標通り達成できました。 ①川崎市SDGs登録・認証制度について、申請方法を定期募集から常時募集へと見直し、申請しやすい体制を整備しました。 ②かわさきSDGsパートナー向けに随時情報発信を行うとともに、SDGsフォーラム・セミナーを3回開催しました。 ③SDGs大賞を開催するとともに、事業者のマッチングを促進するSDGs達成に向けたモデル事業創出支援補助金を本格実施し、8件交付しました。 ④かわさきSDGsポータルサイトを活用した情報発信を行うとともに、分科会が新たに5つ(のべ11分科会)立ち上がりました。さらに、SDGs取組を全庁的に加速化させるため、「庁内SDGs取組の進め方」を作成し、運用開始しました。 ...	

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標（指標の説明）	目標・実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1 成果指標	「かわさきSDGsパートナー」登録・認証事業者数	目標	2,437	3,139	3,630	3,973	者
	説明 かわさきSDGsパートナーに登録・認証された事業者等の累計件数	実績	3,145	3,309	—	—	
2 成果指標	SDGsにつながる行動に取り組んでいる人の割合	『有効性』と関連		34	—	59	%
	説明 市民アンケートにおいてSDGsにつながる行動に取り組んでいると回答したアンケートに回答した割合			25.8	—	—	
3 成果指標	SDGsを知っている人の割合	目標	—	80	—	90	%
	説明 市民アンケートにおいてSDGsを知っていると回答した人の割合 ※アンケートは途中に閉鎖	実績	—	82	—	—	

⑧上記⑥に記載した取組に係る指標を設定し、活動実績や取組によって得られた事業成果を記載

評価（Check）		『必要性』と関連	『効率性』と関連
事業を取り巻く社会環境の変化（国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など）	内閣府では、持続可能なまちづくりや地域化、地域課題解決の加速化という相	SDGsの理念を取り込むことで、政策の全体力とした地方創生（地方創生SDGs）を推進してい	
事業の見直し・改善内容	☒ 実施（直近）R 5 年度 ☐ 未実施		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	R5年度：市内SDGs取組の進め方の策 R4年度：SDGs大賞の初開催、SDGs開設	支援補助金の本格実施 等の試行実施、かわさきSDGsポータルサイトの	

⑨事業を取り巻く社会環境の変化を記載

⑩直近5年程度の事業見直し・改善内容を記載

評価項目		評価	
必要性	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？	a. 事例はない b. 事例がある	a
	評価の理由	川崎市内で事業活動をしている企業や川崎市内で活動をしている組織など、多様なステークホルダーに対してSDGsの達成に向けた取組の支援を行うことの重要性は増しており、市が主体となって取組の支援を実施することにより市域におけるSDGsの推進を図ることが求められています。	
有効性	【成果】 活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか？	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
	評価の理由	「川崎市SDGsプラットフォーム」を基盤とした多様な主体との連携により、「かわさきSDGsパートナー」登録・認証事業者数は3,309者となり目標を達成し、さらに「SDGsを知っている人の割合」についても82%となり目標を達成しました。 「SDGsにつながる行動に取り組んでいる人の割合」については25.8%となり目標に届いておらず、これは多くの人がSDGsを認知しているものの具体的なアクションに繋がっていないことが要因と考えられます。ただし、前回実績値と比較すると8.5ポイントの増となり、SDGs達成に向けた取組の成果が徐々に現れ、取組全体としてはほぼ目標通り達成できていることから、引き続き、フォーラム・セミナーやポータルサイトなどを活用した情報発信を強化していきます。	
効率性	【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	c
	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	【質の向上】 事業を適正な（過小でも、過大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	c
評価の理由		令和4年度にポータルサイトの活用による川崎市SDGs登録・認証制度事務の効率化を実現するとともに、事業を適正な人員体制・費用で行いながら市民サービスの向上を図るための組織体制の見直しを実施済みですが、より効率的かつ効果的な事業実施をめざして、SDGs大賞など各種委託事業に係る仕様の見直し等の事務改善を適切に進めていきます。	
施策への貢献度	貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、市内の多様なステークホルダーに対し、SDGsの達成に向けた取組の支援を行ったことにより、市域におけるSDGsの推進が図られたことから、施策への貢献がありました。	

⑪上記⑧⑨⑩の内容を踏まえ、必要性、有効性、効率性に係る評価結果を記載

⑫事業の評価結果等を踏まえ、上位の施策への貢献度を記載

改善（Action）		実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
今後の事業の方向性	方向性区分	Ⅱ 今後も、市内の多様なステークホルダーのSDGsの達成に向けた取組を支援するため、川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」や「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用を図りつつ、さらなる支援の拡充について検討していきます。また、SDGsにつながる行動に取り組んでいる人の割合を増やしていくため、フォーラム・セミナーやポータルサイトなどを活用した情報発信を強化していきます。さらに、「市内SDGs取組の進め方」の運用による、市内でのSDGs取組の加速に向けた取組を進めていきます。
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	
第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容		①川崎市SDGs登録・認証制度の申請様式の改善など手続の利便性向上に向けた検討と取組の推進 ②情報提供やセミナー開催などによるSDGsに取り組む事業者の支援 ③事業者のネットワーク化の支援に向けた取組事例の共有やマッチング支援などの実施 ④ポータルサイトや分科会の立ち上げなど事業者間連携の促進
今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所	変更箇所 （上記計画上の記載に対する変更箇所）	⑤「市内SDGs取組の進め方」の運用などによる市内SDGsの推進【新規（令和6年度）】
	変更の理由	⑤SDGs達成に向けた取組の必要性が増しており、市内でのSDGs取組をさらに加速するため。

⑬実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性を記載

⑭第3期実施計画に記載している次年度の取組内容・目標を記載し、上記⑬を踏まえ、次年度の取組に変更がある場合は、変更箇所と変更理由を記載